

# OSA(政府安全保障能力強化支援):概要と現状

- 同志国の軍等に対する資機材供与、インフラ整備等を行うための無償資金協力の枠組み。
- 目的は、同志国(原則として途上国)の安全保障上の能力や抑止力の強化に貢献することにより、我が国との安全保障協力関係の強化、望ましい安全保障環境の創出、国際的な平和と安全の維持・強化に寄与すること。
- 国際紛争との直接の関連が想定しがたい分野に限定(①法の支配に基づく平和・安定・安全の確保のための能力向上に資する活動、②人道目的の活動、③国際平和協力活動等)。
- 防衛装備に当たるか否かを問わず、「防衛装備移転三原則」及び同運用指針の枠内で協力を実施。
- 適正性及び透明性確保の観点から、案件毎に、評価・モニタリングの実施とその結果についての情報開示、目的外使用の禁止を含む適正管理等に関する国際約束を締結。
- 2022年12月の国家安全保障戦略に記載され、2023年4月に創設。「総合的な防衛体制の強化のための取組」の一つ。
- 昨年度案件(約20億円、4か国)は順調に進展(供与機材は本年5月頃から順次到着予定)。本年度案件(50億円、4か国)も、全案件署名・公表済み。

令和5年度案件(予算額:約20億円)

国名	金額	機材
フィリピン	6億円	沿岸監視レーダー
マレーシア	4億円	救助艇等
バングラデシュ	5.75億円	警備艇
フィジー	4億円	警備艇、救助艇等

令和6年度案件(予算額:50億円)

国名	金額	供与分野・機材	署名日
フィリピン	16億円	警戒管制レーダー(防衛装備移転済み)関連機材、沿岸監視レーダー、複合艇等	2024年12月5日
インドネシア	10億円	高速警備艇	1月10日
モンゴル	13億円	航空管制レーダー	2月10日
ジブチ	11億円	沿岸監視レーダー及び関連インフラ	2024年12月25日